

難所ヶ滝・宝満山～クリスマス・イブ山行～

【報 告 者】 B場

【日 時】 平成 24 年 12 月 24 日 (祝) 【天 候】 曇・雪・晴れ

【参 加 者】 I 田 (CL)、T 橋、I 木、K 崎、A 坂こ、A 坂あ、N ノ谷、I 下、Y 内た、I 橋、B 場 11 名

《コースタイム》

9 : 10 河原谷入口～難所ヶ滝～河原谷のコル～宝満山～キャンプセンター (昼食) ～昭和の森キャンプ場～15 : 10 河原谷入口

《 報 告 》

クリスマス連休の最終日、寒波による積雪を期待して難所ヶ滝、宝満山へ雪山ハイクに行きました。

9 : 00 昭和の森キャンプ場駐車場集合。広い駐車場だが、ほとんど登山者がなくガラガラ。それぞれで身支度をし、アイゼンを持ってきているかを確認してスタート。アイゼン装着場までの道は所々雪が残っているものの歩くのには問題ない。12月の難所ヶ滝は予想外に氷をつけており、大きな半透明の布を広げているようだった。滝の下で小休止中、クライマーの方々はなにやら「登るとしたら・・・」とシュミレーションしている様子。岩壁に張付いた氷を“景色”として楽しんでいた私だが、クライマーの方々の目には“課題”として映るらしい。難所ヶ滝の下で小休止しているとK崎さんが「エビがトナカイ」と一言。ん??ホントだ!われらがエビちゃんがトナカイのバラクラバ(?)をかぶってサンタさんと登ってきた。かわいいトナカイさん一行に心んだ私たちは三郡山への分岐に向けて急坂を登った。クリスマス寒波は期待したほど雪を降らせてくれなかったようで、落ち葉と土がアイゼンに団子状に張付いて足元が重い。三郡山と宝満山の分岐でアイゼンを外し、小休憩。今回、私はアイゼンに慣れることを目的にしていたので、そのままアイトレ続行。ところがこの先、宝満山までの道が予想外に凍っていて、「アイゼンなしトレ」かと思うくらいみなさん着地に全神経を集中させて歩いていた。宝満山山頂付近の岩場では、岩、鎖、梯子のどれも凍ってはならず無事通過、山頂はあいにく雪が降っていて視界なしだったが、地元の雪山を楽しむ登山者で賑っていた。お昼はキャンプセンターの外テーブルを囲んで食べた。みんなの視線はI橋さんのメニュー“おでん&メの卵とじうどん”に釘付け。旅館の夕食に並ぶ一人用鍋に、大根や卵がゆらゆら浮かぶ。ふと隣を見ると、A坂夫

妻がおいしそうな肉巻きおにぎりをコップェルで炙っている。雪の中でゆっくり座ってお昼ごはんを食べる山行も楽しいなと感じた。下山はいったん稜線に出て、ウサギ道を選んだ。稜線で降っていた湿った雪もあがり、駐車場に着いた時には心地いい青空が晴れ渡っていた。

今回の山行では、これから始まる雪山シーズンに向けて装備を点検する上でとても勉強になりました。そして、いまさらながら初めて宝満山の山頂を踏みました！お社も小屋もトイレも立派で、管理もきちんとされていて安心感があると感じました。ピナクルをはじめ多くの人たちが登る理由がわかる気がします。篠栗から出発して、このお社を目指して縦走したら充実感があるだろうなと思いました。近いうちに歩いてみたいです。

<今回学んだこと>

- ・ アイゼンの爪は折れる（Y内さん所有の6本爪？）
- ・ アイゼンは気づかぬうちに靴から外れてしまう（タイプにもよるのかもしれないが、今回は4本爪が歩行中に外れてしまっていた。）
- ・ アイゼンにスノープレートは必要（落ち葉や土が付いて、“逆つちふまず“のようになり、歩き辛い上に爪が効かなくなって危険）
- ・ 雪が浅い場所では、ストックのスノーバスケットは障害物でしかない。
- ・ サンタさんからのプレゼントは大人もすごく嬉しい（エビちゃん、ありがとう☆）